

暫定2車線全線開通に先立ち道路改築事業の予算が充てられたことは、道路改築事業として行われる**全線4車線化**に向けて大きな第一歩が示されたことを意味するものです。全線4車線化の早期実現に向けた事業推進を国に働き掛けてまいります。

### ◆一級河川雲出川の整備

平成27年度より**下流部**の堤防強化や河道掘削が開始されましたが、**国土強靱化予算**が活用されたことで、当初10年程度を要すると見込んでいたものが7年ほどで完了する目処が立ちました。着手が早まった**中流部**の整備は、洪水調整機能の確保に向け、平時は田畑等として活用し、洪水時のみ人工的に水を貯める**計画遊水地**の整備など、流域全体で被害を軽減させる治水対策を進めていくという壮大な事業を含みます。地域の皆さまの財産に関わることから、津市も国と共に丁寧にご説明申し上げ、**流域治水による防災・減災対策の推進**についてご理解いただけるよう努めてまいります。



## 戦略3 未来の都市づくり戦略

### ◆リニア中央新幹線

リニア中央新幹線は、三重県内においては亀山市域を三重県駅位置候補とすることが決定しました。これは津市においても**リニア駅への交通アクセス**を含め、都市づくりに大きく関係するものです。市民生活や地域経済にもたらすリニア駅の影響を調査し、津市としてそれをどのように受け止め、どのように展開するのかを検討するための調査を開始します。

### ◆自治体DX(デジタル・トランスフォーメーション)

行政手続きをワンストップで完了できるマイナポータル(政府の運営サイト)と連携したオンライン化の取り組み、行政内部の効率化を図る**AI-OCR**(AI技術により高精度な文字認識が可能な機能)や**RPA**(人が行うパソコン操作をソフトウェアのロボットが代替して自動化するもの)の連携による業務の一部代替などの津市における利用可能性の検証を行い、可能なものについては順次導入してまいります。

### ◆地域脱炭素の実現

市域における**2050年二酸化炭素排出実質ゼロ(カーボンニュートラル)**の実現を目指し、市民や事業者と連携して環境に配慮した賢い選択と行動を最優先に考える価値観を広げていく取り組みを進めます。国全体が挑む技術革新を注視しつつ、地球温暖化対策への取り組みを地域課題の解決の機会とも捉え、津市が持つ地域のポテンシャルを生かした**持続的都市の発展**や**公共サービスの在り方**について**研究**し、地域の未来に責任を果たすべく、地域脱炭素の実現に向けて取り組んでまいります。

## 公正公平な市政の確保に向けて

津市公正公平な市政の確保に関する条例の第10条にある「**透明性と自浄機能を維持する**」組織を築いてまいります。既に実施した**建築施設等の少額修繕の見直し**、**工事業者の地元調整のルール化**に続き、**適正な事務執行体制を強化**する財産活用・建築修繕支援担当と補助金審査担当を設置するとともに、人権担当理事と地域調整室を廃止し、人権施策は市民部長が、地域との連携は新たに設置する交流連携担当理事が統括する**市民部の組織改編**を実行します。

要望や不当要求に発展する恐れのある事案については、初期の段階から市長・副市長を含め、幹部職員や担当職員が組織として情報を共有し対応する。実効性のある研修等を行い職員の対応能力、資質向上を図ることで、職員が自らを律し、一人一人が誰から見ても**毅然とした態度で公正公平に職務を遂行**する。そして、組織として一体となり、**揺るがぬ姿勢を堅持**する。それが自ら浄める力のある組織です。一人一人が緊張感とともに自信を持って明確に判断しながら、一体となって自分たち自身が安心して働くことのできる組織を作り上げ、**市民の皆さまから信頼される組織**に生まれ変わるという決意を新たに改革を進めてまいります。

## 常にまちの未来はどうあるべきか意識し 実現に向け知恵を絞り、行動を起こす

令和4年度においても、津市政がコロナ対策に万全を期することは当然のことです。同時に、感染症を契機として**社会が大きな変革を遂げようとしている**中、このまちで暮らす市民がこれからも豊かで快適な生活を営むことができるよう、**将来を見据えた施策を実行に移すとき**でもあります。

目まぐるしく変化する社会情勢の下、常にまちの未来はどうあるべきか意識し、選び抜いた施策の実現に向け知恵を絞り、行動を起こしてまいります。